

悪霊との対決

加藤 享

[聖書] ルカによる福音書4章31～37節

イエスはガリラヤの町カファルナウムに下って、安息日には人々を教えておられた。人々はその教えに非常に驚いた。その言葉には権威があったからである。ところが会堂に、汚れた悪霊に取りつかれた男がいて、大声で叫んだ。「ああ、ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」イエスが、「黙れ。この人から出て行け」とお叱りになると、悪霊はその男を人々の中に投げ倒し、何の傷も負わずに出て行った。人々は皆驚いて、互いに言った。「この言葉はいったい何だろう。権威と力をもつて汚れた霊に命じると、出て行くとは。」こうして、イエスのうわさは、辺り一帯に広まった。

[序] 主イエスの働き

ユダヤ人の男子は、安息日には必ず会堂に集まり、教師から巻物に記された神の言葉の説き明かしを聞きました。ですから主イエスも**安息日の会堂の集り**を大事になさり、そこで積極的に宣教されました。主のなさった説教は人々を非常に驚かせました。その言葉には他の教師とは違う**権威**があったからです。

すると一人の男が突然立ち上がって、大声で叫び出しました。「ああ、ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」会衆の中に、汚れた悪霊に取りつかれていた人が居たのです。その**悪霊**が、主イエスの説教にじっとして居られなくなって、彼を突き動かして**叫ばせた**のです。

それに対して主イエスは即座に、**叱り付ける**という**厳しい対応**をなさいました。「**黙れ。この人から出て行け**」悪霊はその男を人々の中に投げ倒して、退散して行きました。その男は激しく打倒されたのに、どこも傷つくことなく無事に**正気**に戻りました。居合わせた人々は、この突然の出来事に再び驚きました。「この言葉はいったい何だろう。権威と力をもつて**汚れた霊に命じると、出て行くとは。**」

悪霊とは神さまの救いの働きを妨害し、人を破滅に導く**悪の働き**です。ですから**悪魔**は、その力——**悪霊をもつて**救い主イエスの働きをことごとく**妨害**し

ようとなりました。神さまが悪霊の働きを一掃して、人間を**悪魔の支配から解放**するためにイエス・キリストを救い主としてこの世にお送りになったからです。主が伝道を開始するに当たって、先ず荒野に退いて断食して祈っておられると、**悪魔**は早速主を誘惑しました。主は神の御言葉をもって、退けられました。「**荒野の誘惑**」ですね。マタイ福音書4章の記事が有名です。

そして宣教を開始された時にも、今日の聖書の記事のように、先ず会堂の礼拝の席上で、**悪霊を厳しく叱って追放**されました。主が弟子たちを選んだのも、「自分のそばにおいて訓練し、宣教させ、**悪霊を追い出す権能を持たせるため**」（マルコ3：14～15）でした。主が十字架の死から復活して、まだよく信じられないでいる弟子たちに「**全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ**」と命じられた時にも、主の名によって**悪霊を追い出す力**が与えられていることを再確認させておられます。（マルコ16：17）このように主イエスの**福音宣教と悪霊の追放は一体のもの**だということを、私たちは心に留めておかなければなりません。

[1] 歌いつつ 祈りつつ

今日はここで私が尊敬する先輩牧師**林田金弥**先生の証をご紹介します。先生は10年前に**95才**で永眠されました。先生は陸軍士官学校・陸軍大学卒業という陸軍軍人のエリートコースを歩み、**35才**陸軍少佐で敗戦を迎えました。キリスト教に触れるきっかけは、**戦犯**としてシンガポールのチャンギ刑務所に収容されていた時、宣教師ヘンディ先生から聖書の話聞いたからでした。幸いにも短期間で釈放され、帰国して建築資材を扱う会社に勤務。大分在任時代に**大分バプテスト教会**で信仰告白へと導かれ、**49才**でバプテスマを受けクリスチャンになりました。**1970年60才**を期に会社を退職し、西南学院神学部聖書学院に入学、三年後に卒業して**牧師生活**を**32年**送りました。

さて今日は、私が30年間お仕えした**札幌教会**から、そこで育った**真部恵子さんご一家**が**山出さん**共々にこのように、特別賛美のご奉仕をして下さいました。感謝です。その札幌教会が生み出した教会の一つ**平岸教会**が新しい教会堂を建築した時、牧師の未熟で軽率な行動から建物を悪徳業者に介入されて牧師辞任の破目に陥りました。私は信者さんたちから相談を受け、この危機から**教会を守る牧師**を探すことになりました。一生懸命祈って示されたのが**林田先生**です。

手紙でお願いしましたが良い返事をいただけません。横浜のお宅に伺い懇請しました。先生はその2年前に奥さんを亡くして居られます。お子さん方は寒

さの厳しい北海道に単身で出かけるなんてとんでもないと強く反対しているそうです。しかし牧師に対する教会員の不信感を癒し、悪い業者としっかり対応して頂けるのは、**牧師の中の牧師・林田先生**を措いて他にいません。私はもう一度横浜にお伺いして懇請しました。そしたら**1989年6月**にとうとう平岸教会に来て下さったのです。

「先生、お子さん方は承諾して下さったのですか」「いや、暑い夏だけ避暑がてら行ってくと申して出てきました。来てしまえばこっちのものです」と穏やかにおっしゃった言葉を今も忘れません。林田先生**79才**でした。

先生は**平岸教会の危機**を、神の救いの業を破壊しようとする**悪魔の攻撃**と受け取りました。そしてそれを**賛美と祈り**で撃退しようとして決意しました。毎日正午に礼拝堂の二重窓をみな締め切って、一人で大声で**讚美歌 538 番**を歌い、**祈りの叫び**を続けました。1年3ヶ月続けましたが成果がないのみか、業者は会堂を競売するから立ち退けと、**暴力団**を連れて来て脅かすようにさえなったのです。教会員の一人が「万一怪我をされてはいけないから自分の家で夜だけ寝泊りして下さい」と要請し、4ヶ月間手稲から平岸まで通勤されたほどです。

弁護士に相談したら、「法律的には出来ないが、暴力的にやるケースがある」とのことです。しかし先生はくじけませんでした。御言葉が示されました。「**悪魔に立向かいなさい**。そうすれば**彼らはあなた方から逃げ去るであろう**」（ヤコブ 4:7 口語訳）そこで讚美歌 538 番の4節「**わが命も わがたからも 取らばとりね 神の国はなお我にあり**」と叫ぶように歌いつつ、自分の命も宝（教会堂）も捧げようと、心の底から決心しました。

すると事態は一挙に解決したのです。裁判で和解に導かれ、相手側が教会には何の要求もしないと教会役員全員の前で確言したのです。これは全く**主が闘って下さり、主の勝利を見せて下さった**からに他なりません。平岸教会に赴任して4年後、**83才**になって居ました。**4年間の戦い**——偉いですね。

私たちもこれから讚美歌 538 番を歌います。作詞作曲者は宗教改革者**マルティン・ルター**です。彼はウォルムスの国会に呼び出された時、「この町の屋根瓦ほど**悪魔**が待ち構えていても私は行く」と決意し、この讚美歌を歌いながら出かけて行ったそうです。彼はこれを**軍歌**として歌い続けて**宗教改革の偉業**を成し遂げたのでした。林田先生の平岸教会の働きも悪魔との激しい**肉弾戦**だったと申せましょう。そして林田先生も戦い抜いて遂に**主の勝利**を頂いたのでした。

【結】 主イエスの守られて

安息日の集会の最中に突然立ち上がって、主イエスに向かって「**かまわないでくれ**」と大声で叫んだ男。彼が叫んだのではなくて、彼に取りついていた**悪霊**が彼に叫ばせたのでした。とりついた人をじっとさせておかず、**おかしな行動**をさせてしまう——これが**悪霊の仕業**です。

おれおれ詐欺・振込詐欺・電話詐欺といろいろ言われますが、助けを求める我が子の願いだと思い込んでしまうと、親は周囲の忠告も耳に入らなくなってしまいます。でもこのような悪霊の働きは、**至るところで**色々な人にとりついてその人を引き回し、大きな痛手を負わせているのではないのでしょうか。病気になると、先祖の霊だ、何々の霊だと様々な霊の名前を持ち出され、解放してやるからとお金を巻き上げられる人も随分います。

この私も医者や親の忠告を無視して野球に没頭して、遂に肺結核を悪化させ7年間の療養生活を余儀なくされました。自分の**体力**を過信し、榮譽を求める**野心**に負けたのです。これも**悪霊に引き回された結果**でした。私は悪霊の働きを心底恐れています。皆さんもどうぞご用心ください。

主イエスの説教を聞いた悪霊は「**かまわないでくれ**」と叫びました。私の心や体が病んでいくと、神さまが救いの言葉を語りかけて下さいます。その時「**ほっといてくれ**」と叫ぶとしたらそれは悪霊に取りつかれている危険な状態です。

「**黙れ**」「**出て行け**」私たちが、イエス・キリストの言葉を聞こうとしているならば、イエス・キリストが悪霊を厳しく叱って追い出して下さいます。キリストに働く神の霊の力を信じて、神さまの救いの呼びかけに、**心を開いて聞き容れようとする信仰**を養いたいものです。神さまの霊が語る**命の言葉**に耳を傾け、神の霊の言葉と共に働く救いの御業に、あずかろうではありませんか。

お祈りします

神さま、今日は真部さん一家と山出さんによる特別賛美のご奉仕を感謝します。この礼拝に神さまが親しく臨んでくださり、御霊の祝福を豊かに注いで下さいましたことを感謝します。悪魔が私たちを滅ぼそうとして、心の中に悪霊を忍び込ませ、私たちを引き回そうとします。イエスさま、「黙れ、出て行け」と悪霊を叱って追い出して下さい。私たちを貴方がお語りになる神の言葉を聞きつつ、命の道を歩み通す者にして下さい。今日も礼拝を守ることが出来ましたことを感謝します。このお祈りを主イエスさまによって捧げます。アーメン